

整理番号
279

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	職員福利厚生事業				担当課	人事課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			担当係	職員厚生係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	1	人材育成・組織改革等の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	1	職員福利厚生事業（自治体経営）	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
職員のストレスの程度を把握し、働きやすい職場づくりを進めるため、ストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルス不調の未然防止を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	職員	<b>意図【PLAN】</b>	自身のストレス程度の把握とメンタル不調の未然防止
-----------------	----	-----------------	--------------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
受検率を向上させ、自身のストレス程度の把握及び改善をすることで、メンタル不調の未然防止を図ること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	2,023	2,438	2,528			
	事業費合計	千円	2,023	2,438	2,528			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ストレスチェックの受検率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	87.0	89.0	91.0	93.0	95.0
			実績値	90.1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	労働安全衛生法に基づく実施義務があるため、事務事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	人財である職員自身のストレス度を把握し、自己改善や職場環境改善につなげることで、持続的な自治体経営に資することが可能となるため事業実施は必要である。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	労働安全衛生法に基づき実施されるものであるため、事業の効率性を求める類のものではない。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	職員が自身の健康状態を把握し、改善に関心をもつような意識改善を促す取り組みを検討する必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
281

**事務事業評価表**  
**令和5年度実施事業**

部長	課長	係長	担当者

事業名	収納管理事務				担当課	収納課
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			担当係	管理係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	2	持続可能な財政運営の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	2	2	賦課徴收費	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
市税等の適正な賦課の実施、収納率の維持・向上に向けた納税環境の整備を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	納税義務者	<b>意図【PLAN】</b>	納税義務者の都合にあった納税手段を選択できるようにすることで、納期内納付・収納率の向上に寄与する。
-----------------	-------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
口座振替、コンビニ収納、スマートフォン決済を継続するとともに、共通納税eI-QRコードの拡充により納税手段の充実を図る。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	1,627	1,634	1,634			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	1,858	1,851	1,854			
	一般財源	千円	1,754	1,636	1,526			
	事業費合計	千円	5,239	5,121	5,014			

**(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】**

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
市税4税（市民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税）の現年度収納率	%	目標値が実績値以上となること	目標値	98.6	98.6	98.7	98.7	98.8
			実績値	98.3				
			達成率	99.7%				

**(2) チェック項目による評価【CHECK】**

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	生活様式の多様化及びデジタル化の進展により、多様な収納方法を準備することは社会的需要と合致している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	多様な収納方法を準備することにより、より納税がし易くなり、納付忘れの減少が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	納付方法の拡充については、システム標準化移行により行うことにより、二重投資とならないようにする。

**(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】**

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	デジタル納付により利便性の向上が見込まれるので、納税者へ多様な納付方法について効果的な啓発を行っていきたい。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
278

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	職員研修及び能力開発事務				担当課	人事課
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			担当係	人事給与係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	1	人材育成・組織改革等の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	1	職員研修及び能力開発事務	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
研修計画に基づく各種研修を実施し、職員の能力開発及び人材育成を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	職員	<b>意図【PLAN】</b>	職員の能力を引き出し、職員自身が市に愛着を持って、課題を「市民目線」「自分ごと」として捉える意識を醸成します。
-----------------	----	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
職員が必要な研修を受ける機会が適正に確保されている。  
職員が自主的な能力の向上に努めている。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	4,029	3,024	3,418			
	事業費合計	千円	4,029	3,024	3,418			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
研修等へ参加した職員の数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,904	1,928	1,952	1,976	2,000
			実績値	1,103				
			達成率	57.9%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	研修により職員の能力向上を図ることは、市民サービスの向上につながるものであり、市民ニーズ、社会的需要に合致するものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	今後、職員数が減少していく中で、安定的な市民サービスを提供し、市が持続的に発展していくためには、職員一人ひとりの能力向上が不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	人事評価結果の昇給への活用を実施するにあたり、eラーニングにより人事評価研修を実施することで、費用を抑え、すべての被評価者を受講対象とすることができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な研修を適正に実施できた。</li> <li>数値目標の指標を設定する際、特殊事情により研修参加者数が特別多かった年度を参考としたため、目標値と実績値の乖離がある。研修効果は参加者数だけでは測れないという側面もあるため、指標の変更を検討する必要がある。</li> </ul>
--------	----	-------------------------	--

整理番号
283

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	予算編成事務				担当課	財政課
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			担当係	財政係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	2	持続可能な財政運営の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	4	財政管理費	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
当初予算・補正予算の編成及び管理事務を行います。

<b>対象【PLAN】</b>	市民、議会	<b>意図【PLAN】</b>	市民が安心して生活するための、将来にわたる健全で柔軟な財政構造
-----------------	-------	-----------------	---------------------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
歳入に見合った収支均衡型の財政構造の構築

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	173,603	151	2,355			
	事業費合計	千円	173,603	151	2,355			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
経常収支比率	%	実績値が目標値以下となること	目標値	95.0	95.0	94.0	93.0	92.2
			実績値	96.4				
			達成率	98.5%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	・予算編成事務、予算管理事務のために必要なものである。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	・毎年財政シミュレーションを作成し、歳入に見合った歳出予算の計上を行っている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・予算書、決算書については、紙媒体による出力からデータによる出力へ変更し経費の削減を図った。 ・事務事業内の予算は、消耗品費、コンシェルジュデスクの使用料のみであり、実績値に基づき予算計上している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・枠内経費のシーリング、事業指定査定、副市長査定等による事業費の削減は、一定程度の評価はできる。 ・経常経費の増加が避けられない状況から、令和7年度から令和9年度予算要求において、「財政構造改革プログラム」に基づき「一件査定方式」を採用した予算編成とする。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
282

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	施設使用料の標準化				担当課	公有財産管理課
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			担当係	マネジメント推進係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度 ~ 令和5年度
主な取組	2	持続可能な財政運営の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	6	公共施設配置適正化推進事業	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
受益者負担の考えに基づく方針に基づき見直しを行い、施設使用料の標準化を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	市民	<b>意図【PLAN】</b>	市民がわかりやすく利用しやすい施設使用料となることを目指す。
-----------------	----	-----------------	--------------------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
旧町ごとに異なっている施設使用料の統一を行う。市内の類似施設間で特にばらつきの多い集会施設と体育館の使用料を統一する。改定使用料については、標準的な区分（面積区分や施設区分）を設定し、区分ごとに設定する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	0	0				
	事業費合計	千円	0	0				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
施設使用料の標準化が図られた施設の割合（交流施設、体育施設）	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0				
			実績値	100.0				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市内の類似施設間での使用料のばらつきは、合併以降の課題であったため、事務事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民が分かりやすく利用しやすい施設使用料となる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	使用料の統一により、受付事務の簡略化が図られ、事務時間の削減につながると考えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市内の類似施設間で特にばらつきの多い集会施設と体育館の使用料を統一したため、取組は終了。なお、その他施設で使用料見直しを行う場合は、助言を行っていくものとする。
--------	-------	-------------------------	--

整理番号
280

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	職員福利厚生事業（再掲）				担当課	人事課
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			担当係	職員厚生係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	1	人材育成・組織改革等の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	1	職員福利厚生事業（自治体経営）	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
職員の生活習慣病等の早期発見及び早期治療を促進するため健康診断を実施し、職員の健康保持及び増進を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	職員	<b>意図【PLAN】</b>	職員健康診断を実施し、自身の健康状態を把握することで、職員が健康的に仕事や生活を送ることができる。
-----------------	----	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
健康診断受診率と受診後の精密検査受診率の向上により、職員が心身とも健康な状態であること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	6,034	5,477	13,689			
	一般財源	千円	12,278	10,485	6,271			
	事業費合計	千円	18,312	15,962	19,960			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
職員の健康診断受診率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	99.3				
			達成率	99.3%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	労働安全衛生法により、年に一度健康診断を実施する義務があり、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	人財である職員が、検診結果を受け医療機関を受診することで治療の早期着手に繋がり、持続的な自治体経営に資することが可能となるため事業実施は必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	労働安全衛生法に基づき実施されるものであるため、事業の効率性を求める類のものではないが、検診を時間帯別の事前予約性としていることで受診にかかる時間を必要最小限に留める工夫を行っている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	要精検者へ受診勧奨を行い、一定程度の効果はみられたが、自己判断によって医療機関を受診しない職員へ今後積極的な関わりが必要である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
284

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	ふるさと納税事務（再掲）				担当課	商工観光課		
基本目標	6	みんなで作る協働のまち			担当係	物産振興係		
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度		
主な取組	3	ふるさと納税の有効活用			事業区分	一部委託		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	1	一般管理費			

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
ふるさと納税（寄附）を通じて伊達市の特産品や名産品等の返礼品をPRし、全国の方々に伊達市を応援していただきます。

<b>対象【PLAN】</b>	ふるさと納税者	<b>意図【PLAN】</b>	伊達市を応援する全国のふるさと納税者が増え、寄附額が増えるなど、伊達市の関係人口が増加している。
-----------------	---------	-----------------	--

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
毎年変化するふるさと納税のニーズにあったPR活動を推進や、適切なポータルサイト運営を図る。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	242,674	265,360	281,064			
	事業費合計	千円	242,674	265,360	281,064			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
寄附額	千円	実績値が目標値以上となること	目標値	400,000	430,000	460,000	480,000	500,000
			実績値	380,000				
			達成率	95.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	ふるさと納税の寄附額を向上させることは、市の経営資源に役立ち、市民サービスの向上につながるため優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	毎年変化させ、ニーズに合った運営を行うことは、寄附額の向上に有効だと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	今まで紙で受付していたワンストップサービスのオンライン化を図り、費用を抑えながら作業時間の削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は前年度を下回る結果となった。</li> <li>寄附額の増を目指すため、令和6年度にポータルサイトを増やすための準備を進めている。</li> <li>全国の市町村で寄附額を奪い合う競争の中で勝ち負けがつく現状となっており、寄附額を増やすのが難しいなど課題が多い。</li> </ul>
--------	----	-------------------------	---

整理番号
285

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	企業版ふるさと納税事務			担当課	総合政策課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち		担当係	政策推進係
施策項目	4	自治体経営		計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	3	ふるさと納税の有効活用		事業区分	その他
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	-	-	-	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
企業版ふるさと納税（寄附）を通じて、伊達市を応援してくれる企業を増やすとともに、寄付金を有効活用し、地方創生の推進を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	伊達市外に本社のある企業	<b>意図【PLAN】</b>	企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の創生プロジェクトに企業が寄附を行う場合に法人税から税制控除できる制度です。
-----------------	--------------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
企業からの寄附を受け、市の創生プロジェクト（地域創生戦略）を推進する。そのため、企業へのPRのため、オンラインセミナーへの参加やマッチングサイトへの登録をすることにより、幅広企業への周知となる。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	0	0	0			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
寄附額	千円	実績値が目標値以上となること	目標値	3,000	3,000	4,000	4,000	5,000
			実績値	5,150				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	年々企業からの問い合わせは増加している。しかしながら戦略事業にのみ充てることしかできないため、今後の戦略改定において幅広の計画を策定する。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	基本的に歳入増加につながることから継続的に実施する必要がある。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	ホームページへの掲載や市外企業への企業版ふるさと納税広報の通知、オンラインセミナーへの参加のため、費用的には抑制されている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	企業版ふるさと納税（9割軽減）が令和6年度までとなっており、今後の税制改正により延長するかが決定となる。市では一度寄附を受けた企業に対し、使用用途を返信しており継続的な寄附を呼び掛けている。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
286

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	公共施設配置適正化推進事業				担当課	公有財産管理課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			担当係	マネジメント推進係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	4	公共施設等の総合的な管理の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	6	公共施設配置適正化事業	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
「伊達市公共施設等総合管理計画」、「伊達市公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設等の廃止や更新、集約化・複合化等を進めます。

<b>対象【PLAN】</b>	市民	<b>意図【PLAN】</b>	市民が安全安心に公共施設を利用できること。
-----------------	----	-----------------	-----------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
公共施設マネジメント推進本部を運営し、令和6年度公共施設マネジメント取組内容の検討、伊達市公共施設個別施設計画の年次見直しの検討を行う。

事業費【D0】	年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	20,306	1,900		
	一般財源	千円	440	0	8,376		
	事業費合計	千円	440	20,306	10,277		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公共建築物の総延床面積	㎡	実績値が目標値以下となること	目標値	309,000	317,000	317,000	316,000	305,609
			実績値	325,578				
			達成率	94.9%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	施設の老朽化が進む中、安心安全な公共施設の提供が求められている。事務事業の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	新市建設計画に基づく施設の更新が着実に行われている一方、用途廃止施設の除却・処分が進まないため、目標値に対し実績値が高止まりしている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	個別施設計画の年次見直しを行い、長寿命化等の対策を前倒しする施設を選定した。早期に対応することで施設の保全が図られると考えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今後も維持管理していく施設の長寿命化・更新と合わせて、用途廃止施設の計画的な除却・処分を進める必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
287

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	総合支所庁舎建設事業（伊達総合支所）				担当課	伊達総合支所
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			担当係	地域総務係
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	4	公共施設等の総合的な管理の推進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	6	総合支所庁舎建設事業（伊達総合支所）	

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
老朽化や耐震性の課題を抱えている伊達総合支所庁舎に関して、誰もが利用しやすい、安全・安全な庁舎として建設するための検討を進めます。

<b>対象【PLAN】</b>	支所庁舎の改築	<b>意図【PLAN】</b>	現総合支所は地域における行政サービスの基幹施設であるが、老朽化が著しく耐震性や職場環境など様々な問題を抱えている。誰もが利用しやすい安心・安全な施設として庁舎建設を進めていく。
-----------------	---------	-----------------	--

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
令和5年度 基本設計・実施設計  
令和6年度 実施設計 解体工事 造成工事 建設工事  
令和7年度 建設工事

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	33,200	449,500			
	その他	千円	0	7,292	41,078			
	一般財源	千円	0	173	58			
	事業費合計	千円	0	40,665	490,636			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総合支所庁舎の新設	棟	実績値が目標値以上となること	目標値	—	—	1	—	—
			実績値	—				
			達成率	—				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	老朽化が著しい現在の総合支所の改築を進める。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	新しい総合支所庁舎を建設することで、地域における行政サービスの基幹施設となる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	既存庁舎を解体し、造成工事、建設工事を進めることから、時間や費用の圧縮は難しい。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	庁舎建設事業を進めていく。
--------	----	-------------------------	---------------

整理番号
288

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	総合支所庁舎建設事業（霊山総合支所）				担当課	霊山総合支所		
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち			担当係	地域総務係		
施策項目	4	自治体経営			計画期間	令和5年度～令和7年度		
主な取組	4	公共施設等の総合的な管理の推進			事業区分	直営		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	6	総合支所庁舎建設事業（霊山総合支所）			

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
老朽化や耐震性の課題を抱えている霊山総合支所庁舎に関して誰もが利用しやすい、安全・安全な庁舎として建設するための検討を進めます。

<b>対象【PLAN】</b>	支所庁舎の改築	<b>意図【PLAN】</b>	現総合支所は地域における行政サービスの基幹施設であるが、老朽化が著しく耐震性や職場環境など様々な問題を抱えている。誰もが利用しやすい安心・安全な施設として庁舎建設を進めていく。
-----------------	---------	-----------------	--

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
令和5年度 基本設計・実施設計  
令和6年度 実施設計 建設工事  
令和7年度 建設工事

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	14,900	302,600			
	その他	千円	0	1,000	35,888			
	一般財源	千円	0	5,580	72			
	事業費合計	千円	0	21,480	338,560			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総合支所庁舎の新設	棟	実績値が目標値以上となること	目標値	—	—	1	—	—
			実績値	—				
			達成率	—				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	老朽化が著しい現在の総合支所の改築を進める。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	新しい総合支所庁舎を建設することで、地域における行政サービスの基幹施設となる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	従来の庁舎の1/3程度の床面積とした。また、自然光を有効利用するつくりの設計となっており、電気料を抑える工夫がなされた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	庁舎建設事業を進めていく。
--------	----	-------------------------	---------------

整理番号
289

事務事業評価表  
令和5年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	ふくしま田園中枢都市圏管理業務			担当課	総合政策課
基本目標	6	みんなでつくる協働のまち		担当係	広域振興担当
施策項目	4	自治体経営		計画期間	令和5年度～令和8年度
主な取組	5	広域行政の推進		事業区分	その他
予算科目	会計	款	項	目	大事業

**目的と方針【PLAN】**  
限られた経営資源を有効に活用し、自立した地方自治体をつくり上げ、持続的に経営していくため、さらなる行財政改革を積極的に推進するとともに、市民サービスの向上のため、広域行政を推進します。

**事業概要【PLAN】**  
各担当課において、ふくしま田園中枢都市圏ビジョンに基づき、9市町村が連携して実施する具体的取組についての全体調整や進捗管理を行います。

<b>対象【PLAN】</b>	①市民 ②ふくしま田園中枢都市圏ビジョン	<b>意図【PLAN】</b>	生活圏や経済圏を同じくする近隣自治体がそれぞれの強みを合わせ、広域連携により大きな効果をもたらす施策とともに、地方暮らしに目を向ける方々を一層引きつける施策を戦略的かつ積極的に推し進め、人口減少の流れを変え、持続可能な地方都市圏を形成する。
-----------------	-------------------------	-----------------	--

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
「①圏域全体の経済成長と復興創生をけん引する」、「②圏域全体へ経済効果等を波及させる高次の都市機能を集積・強化する」、「③暮らしやすい、住みたくなる魅力あふれる圏域をつくる」3つの方向性に基づき、圏域市町村が連携して取り組む施策を「連携施策」として位置づけ、積極的に推進する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	0	0	0			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
34のWGにおける事業の実施数	事業数	実績値が目標値以上となること	目標値	20	24	28	32	34
			実績値	20				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	東京圏からのアクセスが良く、都市としての高い生活機能と利便性を持ちながら、豊かな自然と農村が織りなす田園を併せ持ち、温かみのある地域社会が形成された中で、ゆとりのある生活をおくることが出来る圏域であり、南東北の要の都市圏としてさらなる発展を目指していく必要がある。優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	人口減少対策の展開に加えて、圏域での連携施策の取組により圏域全体として着実に達成することを目標とする。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	WGの開催状況や事業の実施状況を定期的に把握することで、次年度以降の目標達成につなげる必要がある。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	実施事業について、令和4年度12事業、令和5年度20事業と8事業増加したが、未だに開催していないWGが5グループあるため、事務局となっている福島市と協議し、開催する方向で調整する必要がある。
--------	----	-------------------------	---